

10 紅葉を見に行こうよう！[紅葉狩り・歩荷]

執筆者： (2年)



↑ 沼原駐車場での集合写真

日時	2022年10月16日(土)
場所	姥ヶ平(那須町)
参加者	
天気	晴れ

[山行ルート]

今回は13kmと移動距離が長く、アップダウンの多いルートだった。

沼原駐車場(スタート地点)



日の出平



牛ヶ首



姥ヶ平(紅葉の名所)



三斗小屋温泉大黒屋(歩荷の目的地・昼食)



沼原駐車場(ゴール地点)



[山行開始]

朝6時半ごろに集合しロープワークの確認をしてからスタートした。スタートしてから30分程は平坦な道が続いた。駐車場から日の出平登山口へ向かうのには2つ道があるのだが片方は草が生い茂っていて進めそうにはなかった。地図を過信してはいけないことを学んだ。そして日の出平登山口の分岐を日の出平方面に向かって進んだ。



↑ ロープワークの確認



↑ 雲海の絶景

[最初の難関からの絶景]

日の出平登山口を過ぎてからの前半は、木が生い茂り景色が見えない中、急な坂が続き体力と精神を削られた。途中何度か読図をして現在地と標高を確認した。登山道にはみ出して頭をぶつけそうになる木の枝があったが声をかけあって安全に歩行できた。後半になると、厚い雲を越えてその上に出た。平坦な道を進むと日常生活でたまった疲れを吹き飛ばす程の雲海の絶景を見ることができた。

[日の出平・牛ヶ首に到着！]

日の出平に到着した。ここでは、茶臼岳や南月山などの広がる山々を見ることができた。雲一つない青空と山々のコントラストは見とれてしまうほど美しかった。日の出平から牛ヶ首までの急な岩場を下るときは自分のペースで怪我をしないように慎重に下ることができた。



↑日の出平(後ろは茶臼岳)

↑牛ヶ首

[いよいよ紅葉の姥ヶ平へ]

牛ヶ首から姥ヶ平まではピークの紅葉を見るために多くの観光客が訪れていた。中には、笑顔で応援してくださった方々もいらっやって心温まる時間だった。姥ヶ平へ到着すると赤、黄、緑に彩られた景色を見ることができた。各自写真を撮るなどして紅葉を楽しめた。しかし、ひょうたん池では特に人が集まっていた景色を見るどころではなかった。



↑ひょうたん池

←
姥ヶ平



三斗小屋温泉
(上・集合写真 下・昼食の様子)



[最後の難関から三斗小屋温泉大黒屋へ]

姥ヶ平を過ぎるとついにゴールが見えてきた。姥ヶ平下の分岐から三斗小屋温泉までは小さな尾根と谷を横切るように進んだ。沢が流れて高い湿度の中、急なアップダウンを繰り返した。沢の周辺や日当たりの悪い場所では、地面がぬかるんでいて滑りやすかったので注意が必要だった。そして、ついに三斗小屋温泉に到着した。いろいろな景色を見て歩荷をしていることを忘れてしまっていたが無事にビールの缶などを届けることができた。ここで昼食のため1時間ほどの休憩となった。各自カップラーメンやお弁当を食べた。休憩中には大黒屋さんからおいしいぶどうをいただいた。



三斗小屋温泉
大黒屋 HP

[ゴールの沼原駐車場へ]

大黒屋さんに別れを告げゴールへ向かって歩き出した。姥ヶ平下の分岐までは行きと同じでそこを沼原方面へ進んだ。途中には、ロープを使って下るところがあった。スピードに乗りやすく滑りやすい道なので特に注意が必要なポイントだった。テストなどで忙しく十分に体力をつけられていなかったのかバテてしまった気がした。ゴール直前になるとパラパラと雨が降り出してきた。そして、今日の長い山行は終了した。



[反省]

よかったことが多かった半面反省点も見つかった。1 つ目は、忘れ物の多さだ。持っていくのがマストなものも忘れてしまっていたのでより気を付けて準備をする必要であると思った。2 つ目は体力をもっとつけなければいけないということだ。インターハイを目指すうえで不十分だと思えた。

[感想]

今回の山行は山頂に向かって登るのではなく。紅葉狩り&歩荷ということで景色を楽しむ社会貢献をすることがメインだった。雲海、紅葉、青空などの素晴らしい景色を見て心が浄化されて社会貢献としての歩荷も人の役に立てることができて嬉しかった。満足のいく山行になったと思う。

[Abstract]

This was the last climb of the year in Nasu. The main purpose of this trip was to see the beautiful scenery and to do bokka (Climbing to transport food, mortar and other building materials to the hut) . First, we left the Numappara parking lot and headed for Hinodedaira. Right before Hinodedaira, I could see an endless sea of clouds. Next, we went to Ubagadaira, where we were able to see the scenery full of bright colors like red, yellow, and green. Then, we arrived at Sandogoya Hotspring and were able to delivered our luggage safely. It was an activity with many points to reflect, but I was able to enjoyed the last mountain trip without regrets.